

TOPIC 2 今年度最後の地域資源セミナー 「門真れんこん」を深く掘って、深く知りました

2月11日、「地域資源セミナー～知る・見る・掘る～『門真れんこん』のルーツと現状」を開催しました。今年度2回目となります。今回参加されたのは3名で、中には去年も参加したというリピーターの方もいらっしゃいました。

まずは座学で「門真れんこんの歴史」の話があり、歴史と伝統、そして栽培面積や農家が減っているという現状を教えてくださいました。その後、胴長靴に着替えて、れんこん畑に移動です。

時期的に凍てつくぐらいの気温になるのではと危惧しましたが、その日は穏やかな天気で、れんこん掘りにはとても恵まれた日でした。

れんこん畑では「これめっちゃ長いかも知れへん。」と懸命に粘土質の重たい泥を掻き出すのですが、他のれんこんが交差していたり、エリア外に伸びていたり、端まで追うことは容易ではありません。一本ものを掘り出すのは至難の業なのです。その時は時間切れとなり、途中であきらめてしまいましたが、ご指導いただいているシルバー人材センターの方が、皆さんに見せたいと立派なれんこんを持ってきてくださいました。掘る事の大変さがわかるだけに、その場では歓声と拍手が沸き上がりました。

市民プラザの野外活動運動場に戻ってくると、シルバー人材センター婦人部の皆様が作る、門真れんこんの天ぷらのよい香りが漂ってきました。門真れんこん独自のモチモチ食感を、いろいろな味付けで天ぷらを味わいました。

◆受講者の声

- ・門真れんこんの歴史と掘る大変さを身にしみて感じました。歴史を知る事で門真れんこんがどういう経緯で名物になったか知る事ができて良かったです。
- ・門真れんこんの歴史を知る事ができ勉強になりました。
- ・門真についてより深く理解するためのすばらしい体験で、とても意義を感じました。感謝いたします。

今年3月末日にて指定管理者が変更となるため、「地域資源セミナー」は今年度をもちまして終了となりました。これまでの3年間、関係者の皆様には多大なご協力をいただき御礼申し上げます。今後も門真の特産品「門真れんこん」に、熱い声援を送っていただきますようよろしくお願いいたします。



TOPIC 3 「会計の基礎が学べる会計セミナー」を開催しました

2024年1月21日、市民活動団体を運営する方や会計担当の方を対象に、「会計の基礎が学べる会計セミナー」を開催しました。NPO法人の会計監査にも携わっている会計士を講師に迎え、会計の基礎知識を教えてくださいました。

◆簿記とは「帳簿記入」のこと

日々の取引を記録し、「見える化」することで、無駄遣いや課題を発見することができます。身近な家計簿はおこづかい帳も帳簿の一種です。ここでは、「NPO法人会計のキホン」を例に挙げ、基本の仕組みと、複式簿記での「仕訳(しわけ)」の考え方を説明してくださいました。

◆付箋を使って仕訳を作成してみよう

慣れないとわかりにくい「仕訳」について、付箋を使っての練習問題が出されました。ルールに従い、1つの取引を2つに分け、さらに複式簿記における5要素に当てはめて分けていきます。仕訳をし終わると、それを貸借対照表と活動計算書に移し替える作業をしました。

◆受講者の声

- ・簿記の知識が全然なく、とても参考になりました。
- ・本を何度読んでも理解しにくかったことがよくわかりました。

今回のセミナーは、市民公益活動団体の会計業務担当者の理解と支援になればと企画され実施しております。会計業務に無理なく務めていただけるヒントがたくさんありました。

今年度も団体運営・組織運営において欠かせない業務はたくさんあります。労務・経理・法務等必要とおもわれるセミナーを実施してきました。

楽しく無理なく、でも公益活動をしっかり継続できるようなお手伝いを市民公益活動支援センターができていたら幸いです。

TOPIC 4 指定管理者交代のお知らせ

平素より門真市立市民公益活動支援センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。本施設は特定非営利活動法人大阪NPOセンターが指定管理者として業務運営を行っておりますが、この度、令和6年3月31日を持ちまして指定管理期間終了となります。

平成31年から5年間、門真市立市民公益活動支援センターの管理運営ができたことは、皆様方のご厚情のおかげと深く感謝しております。

令和6年4月1日からは、「特定非営利活動法人トイボックス」が指定管理者として管理運営を行います。引き続き、市民公益活動の拠点として、皆さまの市民活動の支援に邁進されますので、当法人が賜りました温かいご声援とご協力を新指定管理者へも何卒よろしくお願い申し上げます。

門真市立市民公益活動支援センター
指定管理者 大阪NPOセンター